

# 二条中学校便り

第 1 号

平成18年4月10日

京都市立二条中学校

## 桜満開の下で～平成18年度 新しいスタートを！



今までの年より2日はやい年度の始まりを祝福するかのよう満開の桜が咲き誇っています。二条中のシンボルであり、京都市立学校の銘木百選にも選ばれたカナリーヤシはどっしりと根を張り、校門をくぐる生徒を見つめています。さあ、心地よい春の風に深呼吸をしてみましょう。

二条中学校の新しい年度が始まります。教職員一同たくさんの出会いの期待に胸をふくらませています。一人ひとりの生徒達、学校長を中心とした教職員、そして各ご家庭と地域のみなさま。それぞれの立場から同じ方向を見据えて、充実した一日一日を積み重ねていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

二条中学校の教育の学校教育目標は次のとおりです。

## 自らの目標に向かって相互に主体的な努力のできる生徒の育成

### めざす生徒像

- \* 基礎・基本の学力と学習の方法を修得できる生徒
- \* 「共生」社会の実現を目指し、実践する生徒
- \* 自己の健康を管理し、体力の増進に努める生徒



### 新しくお迎える5人の教職員のみなさん！

どうぞよろしくお願ひいたします。

宮本晴彦先生（数学） 安祥寺中学校から  
佐々木基仁先生（技術家庭）四条中学校から  
小泉未来先生（音楽） 藤森中学校と兼務

石川松夫先生（理科） 勸修中学校から  
大友優子先生（事務主査）弥栄中学校から

### 転園職される6名のかたがた。ありがとうございました！ご健康とご多幸をお祈りいたします。

川島 亘先生 ご退職 吉川美妙先生（数学）双ヶ丘中学校へ

森田康正先生（技術家庭）大淀中学校へ 大湾みどり先生（専門幹）鳴滝総合養護学校へ

合家久美子先生（音楽）花山中学校へ 北坂浩二先生（英語） 神川中学校へ

# 120人の新1年生! ご入学おめでとう

4月7日に120名の新入生が入学してきました。ご入学おめでとうございます。二条中学校の在校生・教職員一同



はみなさんを大歓迎します。

子ども時代から大人への階段を一步一步登り始めるこの3年間。自分とは違うたくさんの仲間と出会い、ともに活動することで大きく成長できることでしょう。

前期始業式 学校長の話から

## 3つのリフレッシュプランを!

ここで、18年度のスタートの日に当たり、昨年度同様、私はみなさんがたに新年度の**リフレッシュプラン**を三つ提案してみようと思います。

まず、一つめは「**二期制**」を**充実させる**ということです。前年度二期制を実施して以来、一年が経過しました。この二期制の実施に際して、昨年度私は「二条中学校開校以来の大改革」だ、とみなさんにお話しました。日本の中学校教育の歴史上、重要な意味をもつものだということもお話したと思います。すでに先行している仙台市の例もありますが、内容の充実はこれからのことであり、結果としての成果は今のところまだ出ていません。二期制はただ単に三学期制を二期制に変換したという制度や枠組みの問題をいうのではありません。結果として皆さん方の「**学力が向上したかどうか**、**学ぶ意欲が向上したかどうか**」を問われる改革なのです。昨年度、皆さん方は、この二期制の教育課程の中で、先生方と協同しつつ、自らの力を高めることにスタートラインとしての一定の成果を上げられたと私は評価しています。そのことは、卒業生の進路実現や本校生徒の「学力定着調査」のデータを見れば、明らかです。しかし、二期制はまだスタートラインの位置にあり、これからが充実の時であると私は思っています。

二つめは、「**研究発表**」を**しめくくると**ということです。本校の京都市教育委員会指定の「**みやこ学校創生事業(みやこステップアップスクール)**」の二年時の研究報告会を昨年11月1日に終え、内外の高い評価を得ることができました。その研究成果はさらに、東京海上日動教育振興基金の教育研究助成に本校が選ばれたり、「わたしの十八番(おはこ)授業」に3人の先生方が優秀賞に選ばれたりすることにも結びつきました。

これら先生方の研究は、一見皆さん方の学習活動とは無関係に見えますが、大学や企業の研究活動とは異なり、皆さんがた生徒をパートナーとしての協同研究ですから、皆さん方に密接に結びついているものであり、研究結果のキーパーソンは皆さん方生徒自身であると断言してもさしつかえありません。本年度は研究発表の最終年度でもあり、二条中学校の皆さんがたの学習成果と先生方の研究成果の真価が問われる年です。生徒と先生方がともに努力する姿が認められれば、二条中学校がより高い評価が得られることは間違いありません。

最後の**三つめは、誰もが何かをやり遂げる「自己実現」を果たす年度にする**ということです。

昨年度は、例年以上に伝達表彰をこの場でする機会がありました。「中体連野球専門部史上38年ぶりの快挙」と称賛された野球部の三冠達成など、実現が困難な表彰をいくつか受けました。文化面でも吹奏楽部がコンクールで金賞を受賞し、手話コンテストにも京都府代表として本校生徒が選ばれました。表彰された人はもちろんのこと、全ての人それぞれがそれぞれの種目や分野でのさらなる成長を目指すとともに、違う分野や内容にも積極的に取り組む視野の広がりや不断の努力を怠らない態度を養ってほしいと思っています。私はこのことから、一つのことを成し遂(と)げた自信はさらに他の分野での潜在能力を開発させることのできる力につながることを確信しました。一つの成功による自信が他の分野のチャレンジ精神を生み出すエネルギーの源になることは、人間の能力開発

のダイナミズムとも言えるでしょう。そこで、私は皆さん方に助言したいと思います。「何ものにも恐れることなく、自分の可能性を信じて積極的に取り組んでみなさい。そこには自己を実現する機会や場が無数に用意されています」と。

新しい年度のスタートの時、私は私なりの「**二条中学校のリフレッシュプラン**」を提案してみました。みなさんも、「私流リフレッシュプラン」をつくってみてはいかがですか。そして、皆さん方が、早速自らの計画による自己実現に向けた第一歩を踏み出してくれることを期待して、私の始業式の話が終わります。

### 生徒による手話通訳～上達のはやさ！これぞ若さなり～

年度末・年度当初には数多くの式や集会が行われます。今年度の4組には3学年あわせて22人という多くの生徒がいますが、彼らは集会の時は前方に集まり、聴覚だけでなくスクリーンに映される文字情報と、それにあわせて手話通訳など視覚情報も一緒にして音声情報を得ています。



ここ何回かの式や集会では、生徒の代表が話をする時には、同じく生徒の代表の生徒会本部が担当しましたが、さすが若い中学生、彼らの手話修得のはやさとなめらかさには舌を巻きます。通訳後の南校舎では、4組の生徒が彼女らに口々に「ありがとう」「よく伝わった」と声をかけている場面も目にしました。

**各教室にパソコンが設置されました。教科授業に・総合的な学習の時間(カナリータイム)に。どんどん活用していきましょう！**

昨年度末の校内 LAN 工事も無事終了し、各クラスの教室には京都市光ネットにつながれたパソコンが設置されました。非常に高価なものですので、ルールを守り大切に 부탁드립니다。そして、生徒たちの学習に効果的に利用してみましょう。各学年の総合的な学習の時間(カナリータイム)でも、教科の学習と相互に関連づけ、計画的に使っていきたいと思っています。生徒達自らの「学ぶ意欲」を高めることに役立つことを期待しています。